

法人名 特定非営利活動法人 わが街さやまの防災ネットワーク

事業計画書

事業名	防災カフェ事業
種類	特定分野事業ネーミング枠 (損保ジャパン代理店 J S A 中核会防災・地域安全支援事業)
1. 事業の目的	いつ何時、起きるか予想出来ない大災害において、要援護者を置き去りにしないよう、日頃より、防災カフェを開催し「顔の見える関係づくり」そして「絆づくり」を目指しています。
2. 事業で取り組みたい地域や社会の課題	<p>当法人理事長は、長年にわたり、自治会長を拝命し、「個人では難しい」中越地震・中越沖地震、東日本大震災の被災地に伺いました。筆舌に尽くしがたい現状を目の当たりし、愕然としました。</p> <p>どの様な災害でも、お年寄り・子供・女性等が災害弱者となってしまう、状況を痛感しました。結果、NPO 法人立ち上げの強い動機となりました。</p> <p>NPO 法人わが街さやまの防災ネットワークは、平成 26 年 8 月に活動を開始、会員 42 名・理事 6 名・監査 1 名で構成されています。当法人の取り組みには、2つの柱があります。</p> <p>①地域住民による防災連絡協議会の設置。 市からの要請による、自主防災組織の設置を縦軸とすると横糸を紡ぐ役、地域性を重視し住民主体のきめ細やかな防災活動を展開しています。</p> <p>②自然災害時の女性の身体的・精神的な安心安全を守る。 災害時や防災活動での地域のリーダーとなりうる女性の育成。</p>
3. 具体的な事業内容	<p>上記の課題への取り組みに基づき防災カフェ事業を実施します。</p> <p>(1) 趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご高齢の方や、障がいのある方々は、防災講習会や勉強会になかなか出られません。地域の自治会館や集会所でざっくばらんな交流会・お茶会ならば参加頂けます。そこで、防災についてのお話を盛り込み、少しでも身の回りに気を付けて頂くのが目的です。 ・専門家の話を聞くことにより、特に女性メンバーの意識が向上し、やがてはリーダーになるべく目標を持って活動するようになることがこの取り組みの大きな目標です。50 人からの方々の前でマイクを持って、防災に対しての取り組みや、思いが話せる様になります。 ・今迄は、ティーサロンとしての開催でしたが、一歩進んで、講師の方々、そして消防団の方々にも参加いただく内容とします。 <p>(2) 時期 期間内に 3 回の実施を予定しています。</p> <p>(3) 会場 狭山市内 3 か所 (公民館・集会所)</p>

	<p>(4) 講師について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師として、防災の専門家をお願いし、それぞれの分野において普段知りえない様な内容をお話しいたします。堅苦しい話だけではなく、時に「本当はとても怖い～」など、ユーモアを交えながら、かみ砕いて平易に講演頂きます。 ・講師は以下の三人を予定しています。過去のアンケートから、又、聞きたいという方々です。 <p>①漢文「論語」を例に、災害時、人としてどの様に対応をすべきか、又、リーダーとしての意識など、分かり易く、納得のいくお話ができる講師。平時の心構えなどはいつも感服させられます。</p> <p>②災害支援事業のNPO 法人を主催し、災害現場に物資を届けたり現場経験が豊富な講師。</p> <p>③狭山市消防署に永年奉職し、救急隊長・はしご車隊長などを歴任し、阪神淡路大震災にも2日目に現地に入り、救急活動を展開した現場のプロの方。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、開催地域の消防団の方々に来て頂き、身近の注意事項をやさしく分かり易くお話頂きます。 ・参加者には、メンバーが炊いたアルファ米をお持ち帰り頂きます。 ・いつも、自治会館等が50人以上の参加者でいっぱいになります。主催団体としては大きな励みになり、なお一層、頑張っていこうと強い思いに駆られます。 																		
<p>4. 具体的な事業の実施計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、大会場にて、ソーシャルディスタンスを十分にとるなど、対策を講じて開催します。ワクチン接種が終了していても、念には念を入れて行います。 ・和やかな雰囲気を進めるため、茶菓は提供しますが、基本的にはお持ち帰り頂きます。勿論、個包装のものを用意し、その旨説明します。 ・今まで行っていた防災食の試食は行わず、それぞれのお宅に必要な内容をスタッフがご紹介いたします。 <p>○事業のスケジュール</p> <table border="1" data-bbox="454 1624 1300 2049"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>打ち合わせ・講師依頼</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>打ち合わせ・準備</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>打ち合わせ・準備</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>防災カフェ開催① 狭山市立中央公民館</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>打ち合わせ・準備</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>防災カフェ開催② 狭山市立狭山台公民館</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>打ち合わせ・準備</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>防災カフェ開催③ コート狭山台集会所</td> </tr> </tbody> </table>	時期		7月	打ち合わせ・講師依頼	8月	打ち合わせ・準備	9月	打ち合わせ・準備	10月	防災カフェ開催① 狭山市立中央公民館	11月	打ち合わせ・準備	12月	防災カフェ開催② 狭山市立狭山台公民館	1月	打ち合わせ・準備	2月	防災カフェ開催③ コート狭山台集会所
時期																			
7月	打ち合わせ・講師依頼																		
8月	打ち合わせ・準備																		
9月	打ち合わせ・準備																		
10月	防災カフェ開催① 狭山市立中央公民館																		
11月	打ち合わせ・準備																		
12月	防災カフェ開催② 狭山市立狭山台公民館																		
1月	打ち合わせ・準備																		
2月	防災カフェ開催③ コート狭山台集会所																		

	<p>○広報計画について 当法人のホームページ&フェースブック。さやマルシェ。 公民館・地区センターにチラシ配布します。 開催地区の自治会連合会にも集客をお願い致します。 さやま市民大学「地域の防災リーダー養成講座」修了生にも出来るだけ、声掛けします。</p>
<p>5. 事業の実施体制</p>	<p>①総括責任者：高橋和子 ②連絡責任者：中村すぎ子 ③現場責任者：山路すみ子 ④経理責任者：西本則子 ⑤広報担当者：島田公江</p>
<p>6. 来年度以降どのように事業を継続し発展させていくか</p>	<p>コロナ禍を大災害と捉え、有事という意識を持っています。 ワクチン接種完了をしても、抗体の有効期限について実際のところ、解りません。新型コロナウイルスについて、かなり解明されていますが、まだまだ未知のウイルスです。 どこもかしこも、クローズすると、コロナフレイルが増加し社会問題になりつつあります。 最大限の注意を払い、決して無理せず、弛みの無いよう多くの方々の叡智を結集して、乗り越えていく所存です。 既に、ユーチューブチャンネルも開設していますので、なお一層、間違いない情報を発信していきます。</p>
<p>7. 今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること</p>	<p>当法人は、理事が全て女性で構成されています。 埼玉県では初だそうです。理事長は狭山市自治連合会長に推挙頂きましたが、こちらも初めてでした。 女性目線で防災を捉える、又、女性の防災リーダーが必要である事を、被災地での悲惨な状況のなか、痛感しました。 防災カフェという発想は、女性理事ならではのと思っています。 今回は出来ませんが、いつも、来場された方に、きめ細やかに優しく、穏やかに接しています。とても、和やかな雰囲気づくりが上手だと思います。そこでの、ちょっとした話で、お家に帰り身の回りを、[懐中電灯の電池や、飲料水の期限等々] 確認頂けるだけで、とても効果があります。 女性だけですかと聞かれますが、会員さんは男性が多いです。 男性会員さんにも、防災カフェで頑張ってもらっています。</p>